廿一日夕刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日休刊）

敷地處分案
滿塲一致で可決
二萬四千圓で百澤氏に

平町會は二十日午後二時召集し平町役塲新築資金に充てる平水道部敷地並に十五町目町有地の處分案を附議したが、水道部敷地四百二十六坪一合は坪五十圓十五町目百十坪八合は一坪四十圓、總價格二萬四千三百三十七圓で平町四町目百澤易興氏に讓り渡す事に決定した。

電氣料の値下は出來ぬ
東電重役の回答

過般平町の電氣料値下げの交渉を受けてゐた東部電力株式會社では、これが回答の爲め專務取締役西山龜太郎氏二十一日來平平町役塲に於て交渉委員七名と會見、東部電力會社重役間の決議を發表したが、會社現在の內容から見て値下げは不可能であるとの回答であるので、委員側では更に交渉の上來る二十八日これが回答を得ることに決定した。

植田局でも臨時增員

植田郵便局では一帶に不景氣から年賀狀は減少するだらうとの觀測されてゐる樣であるが、差出個々の狀況より推察して寧ろ一割位の增加を示すものと見込をたて馬上局長は廿五日頃から三名の臨時增員を行ふべく準備中である。

年賀狀は昨年より一割位の增加か
初日は昨年より多い

年賀郵便特別取扱ひは二十日より開始された、平局の狀況を見ると昨年の初日二千枚に對して午前中既に二千枚を突破する狀態で期間十日間には前年の三十萬二千餘枚に比し先頭の不況節約に伴ふ一割減の豫想を裏切り或は一割位の增加を示すであらうと觀る事が出來る、大体年賀狀は廿七八日頃からが多く從來の例に見るも約三分の一は最終日の受付であるので現在ではちつと豫測は困難であるとされてゐる、たゞ表面的なものとせば活版業者は非常に注文減をかこつてゐる事は事實であるが、不況の關係から期日切迫まで注文しないと見る事も出來或は一時にドッと繁忙を來しはせぬかといはれてゐる、又議會解散は充分見越される處であるし、押しつまつてから激增の見込みで平局では何時でも十名位の係員を增し得る準備はできてゐる。

養蠶同業者で注意書配布

高温に加へ雨量殊に多く、ために桑の芽が遽に膨らみを大きくするといふ近來稀な氣候不順に一般養蠶家は蠶種保護貯藏上尠からぬ狼狽を來たしてゐるに鑑がみ石城郡養蠶同業組合では蠶種の保護に關して郡下へ檄を飛ばしそれ〴〵手遲れの生せざる樣注意に努めてゐると共に明年は繭價安を見越さねばならず其上異蠶でも發生收繭上に激減を來す樣の事あつては大變と萬全を期すべく左の事項を印刷し町村長宛に送達各飼育家に頒布方を依賴した。

一、目下の繭種は華氏四十度以上に永く接すれば發育する狀態で高温時間永きに從ひ順次程度も增す故に掃立期の豫定に變更を生ずるのみならず虛弱性となり違蠶を生ずる結果となる。

一、不時の高温を避ける爲め貯藏器又は木製箱に入れ温度の變化少なき倉等に置くこと。

一、適當の塲所を撰定し共同して貯藏する事但し多數の蠶種を入るゝ塲合は容器內の間隙を相當有せしむる事。

一、外氣の接觸する塲所に置かざる事。

四倉町の家主達
全部家賃値下
自發的に二割乃至三割
近頃珍らしい美談

家賃値下の聲が到る處に叫ばれ家主と借家人が非常な抗爭を續けてゐる今日、これは又一町內の家主の全部が卒先して自發的に家賃を二割乃至三割方値下げるといふ家主美談がある。石城郡四倉町には約五十名の家主と約二百戶の貸家があるが、同町の家主中の約半數は今回自發的に家賃二割以上の引下げを斷行し殘る半數も近いうちに引下げを實行するといふので同町の借家人は大喜びで家賃値下運動等は全然起つて居ず所轄四倉署では非常に安心してゐる。

肋膜を苦にし青年自殺か

郡山市阿彌陀町矢坂吉高（三二）は肋膜炎を病み前途を悲觀し常に自殺すると口辷つてゐたが、此程磐城の海岸で自殺する旨の遺書をおいて行衛不明になつたので實父から平署に搜索方を願ひ出でた。

衛生區長を訴へて
アベコベに告訴さる

石城郡內鄕村大字綴字町飲食店石堂鐵雄（四一）は過般同町の衛生區長箭內千代春（四四）を相手取り箭內は春期衛生掃除の際石堂方の飲料井戶の中に牛石灰を投入したと告訴を提起したので取調中であつたが、告訴された箭內は全然そんな事實がなく告訴を出したのは石堂が嘗て傳染病に罹つた際居宅內の消毒を拒んだけれ共駐在巡査等と共に消毒した事を恨みとして事實無根の告訴をしたものであると二十二日石堂を相手取つて誣告罪の告訴を提起した。

四倉漁港祝賀會

四倉漁港は縣會に於て縣費支辨港に編入されたので近く祝賀會を催ほす事になつた。

半額割戻しの賣出し
引續き大好評

平町三丁目丸ほん家具店では事業擴張と失業者救濟の意味で職工五十余名を雇ひ入れ各種家具類の製造を行つてゐるが、之がため製品が非常に多くなつたので利益を度外視し職工の賃銀を產み出す位の利益で商品を販賣する計劃をたて、去る十三日から二十九日までの期間で半額割戻し大賣出しを行つてゐるが、この方法は例へば二十圓の品物を買へば十圓を戻すわけになるので好評を博し毎日店頭は客で埋まる盛況を呈してゐる。

四倉有志國債償還
資金に寄附

石城郡四倉町字原田、長瀨慶重菊地伊太郎、鈴木藤吉、芳賀正雄、丸山三之助、綠川藤夫、宇佐見ハル、江口清、溝口源平、岡章、會田千代吉、芳賀藏孝、長田憲治、西廣治三郎、酒井藤松、吉江ツネ、關谷任、金成岩吉の十八氏は兼てから些細な組合を設けてゐたがその積立金五十五圓七十二錢に達したので同町役塲を通じ國債償還資金に充つ可く大藏省に寄附方を申し出でた。

子供の事で親子喧嘩

石城郡內鄕村大字綴字大神田沼田安榮（四〇）の子供三千夫（八ツ）は常に附近の雜貨商佐藤リン（三八）方店先きからリンゴ、菓子等飲食物を盜んでゐたが、去る七日午前十時頃リン方の店先きの菓子三十二錢分を盜まれたのでリン方で三千夫が盜んだのだらうと話し合つてゐたのをリンの子供章が聞き三千夫方に行つてその旨を話したので沼田安榮は大いに怒りリン方に暴れ込み散々に毆打し全治二週間を要する傷害を與へたので平署に告訴された。

▲女中と逃走

福井縣武生町三尾佐太郎方番頭島野義雄（三〇）は同家女中中村花子（二二）と駈落したが最近島野が知人に出した平町の消印ある手紙が届いたので石城地方に潛伏してゐるらしいと平署へ搜索方を願ひ出でた。

流石は平
忘年會の催ほし

どこ迄行つたら樹て直るのか見當がつかない此の不景氣に平町方面は金融の逼迫、農村の不作、炭礦の不振等で何れも悲鳴をあげてゐるが、泣いても悲しんでもカレンダーは一枚々々減へつて行くので半分は自棄も手傳つてか恒例の忘年會がボツ〳〵花柳街を賑して來た、十八日には石城銀行組合が例會を兼ねて忘年會の魁をなし、磐城炭礦の從業員も忘年會をやつた由、押詰まつて來るに連れて安値なのではあるが忘年會と名の付いたものが催されて來たので、料理店はまア暮らしい忙しさを見せて來たが「會費等は例年の半分位ですが、宴會の數は割合に多い樣です」と某料亭では語つてゐたが、大きな料理屋より小さな處や、カフエー、ホール等の忘年會が多いのは明かに不景氣を物語つてゐるものである。

小野澤氏夫人逝く

平町鍛冶町辯護士小野澤彌三郎氏夫人かめ子刀自は病氣中の處二十一日死亡した、葬儀は二十三日午後二時自宅出棺菩提院に於て行ふ。

四百五十圓を倒した徒弟

石城郡磐崎村大字藤原坂本庄之助長男喜一は湯本町字上町木村仁吉の世話で去る十月二十六日前借金四百五十圓で東京市日本橋區濱町森清藏方の徒弟に住み込んだが十一月二十五日前借金を踏み倒した上女中の金十八圓五十錢を持つたまゝ逃走したので平署に捜索方を願ひ出でた。

密告して訴へらる

石城郡内郷村大字御臺鏡鈴木武（三二）は村會議員選擧の際附近の草野政勝に對し武の實兄鈴木佐市に對し投票してくれるやうに賴んだが、佐市が政友會であるからと拒絶されたのを遺恨とし去る八日同村駐在春川巡査に對し政勝は此程好間村某方所有畑の中から大根を盗んだ處を發見され二百圓を出して示談したと密告したが、調査の結果事實無根と判明したので政勝は武を相手取つて平署に名譽毀損の告訴を提起した。

▲情婦と駈落

河沼郡野澤町字原町廣木リカ方酌婦八木原タマ（十九）は情夫である信夫郡飯坂町床屋堀江由太郎（五〇）と駈落したが平町に來た形跡があるので平署の捜索方を願ひ出でた。

▲藝妓二名逃走

本宮町南町裡藝妓屋鈴萬事萬屋儀兵衛方抱藝妓岩瀬郡須賀川町柳沼才助次女鈴香事柳沼ヒナ（十八）同齋藤ルイ子（十八）の兩名は十一月十六日行衛不明となつたので平署に捜索方を願ひ出でた。

縣會から

傍聽生

縣會も愈々千秋樂となつた、百五十萬縣民の總意の集大成が一堂に集まつて縣民に見える試金石の場面だ、嘸かし良いことをいつて呉れるだらうと期待してゐたが、愈々千秋樂の清算といふ段になつて考へて見ると、大したものでもなかつた。

□

失禮な申分だが極めて平凡だといふより外に評の下しやうがない、まづ一々議員さまの質問や演説を新聞なり何なりを透して仔細に考へて見るとこれが縣會議員さまかと少々心細くなる位だ。

□

あんな演説なら俺達にも出來相だ、俺達だつてもつと氣の利いた政治的見識を持つてゐるとさへ思はれる位だ、否演説の巧拙や質問は兎も角として、もつと眞面目に縣政に目を通せると思ふ位だ。

□

第一彼等の大部分は傍聽人の安値な好奇心に媚びやうとする態度が多い、中には議場を茶番化するために議席を占めてゐるのではないかと思はれるやうな爺がゐる、これに反し稍恕すべきものに去年あたりまで一言も發言しなかつたものがわが黨天下になつてから急に元氣づいたものか消費節約のけふこの頃時間を空費するばかりで何等選擧民の生活に觸れない質問者などもある始末。

□

總じてみな不純な色彩で灰色に塗られてゐる議員樣ばかりだ、大体が不純なものは受け容れられない、いくら議場で長いこと時間をつぶしたつて心にもないことをだら〳〵と喋舌つたつてそれが内發的な眞の眞劍味がない限り如何に力瘤を入れてゐるやうに見せてもそれが容れられるものではない。

□

自分でこの位なら賣れるだらうと思つても先方が買はない以上それは値無しだ、これを要するに若手の或二三人を除いたすべての議員樣はまづまづお座なりの相場か？。

例年の通り
新年ゑはがき
文字ハガキ
クリスマスカード
カレンダー
カルタ、トランプ
當用日記、懷中日記
豐富に取揃へました
マルトモ柴田書店
電話（二三四番 九〇五番）

江戸前季節
鳥・鰻
御料理
平町南町小舘隣り
鰻蒲燒
魚榮
電話四二四番

貸家案内
白銀町　料理店旅館向　八十圓
同　商店向　二十圓
同　勤人向　八圓
柳町　同　八圓
舊城跡　同　七圓
仲間町　同　五圓五十錢
同　同　四圓五十錢
五丁目　同　五圓
白銀町　加藤營業所

緊縮料理を初めました
御献立（御刺身、お椀物、御酢物、小丼、千鳥揚、白鹿一本付）
以上金一圓三十錢
御膳御一人前　金八十錢　金一圓也　金一圓廿錢　金一圓五十錢
忘年會と新年會如何樣の御相談にも應じます
大蒲燒割烹
壽々喜亭
平田町（電話五八番）

平町字古鍛冶町
神谷齒科醫院

石炭の特色
弊店の石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります。
◉石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確でなければ眞に安いとは申されません。
目方の正確品質の優良　當店は目方の正確を期する爲に正味十貫目を單位とし一俵を六十錢と定めました
弊店の石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります。大量生産ですからお安く賣る事が出來る强味を持つて居ります。
弊店の石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手數にても御知らせ下さい、御氣に召す樣に致します
平驛前
阿部石炭商店
電話二三七番　配達は一俵より致し升

耳鼻咽喉科專門
新築移轉場所
平町仲田町七一
合津醫院
電話五九五番

新妻眼科醫院
平町字紺屋町
◆入院應需　◆看護婦一名至急募集

移轉廣告
外科　一般外科　内臓外科
性病科　X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
元赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四七五

新荷着
子供洋服
均一賣出し
貳圓五拾錢
參圓
其ノ他
平四丁目　電一四〇
ツルヤ商店

荊妻かめ儀病氣療養中の處藥石の効なく本日永眠仕り候に付紙上を以て御通知申上候
追而葬儀は十二月二十三日午後二時自宅出棺菩提院に於て埋葬式相營可申候
昭和四年十二月二十一日
平町鍛冶町九番地
小野澤彌三郎
外親戚一同